




中四国ブロック事業報告レポート(H29年度後期:10月~3月)

■ブロック組織

中国四国ブロック会 青年建築士協議会
岡山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県

■ブロック事業報告※事業や会議などブロックが主幹となっている事業について記載する

No	事業内容等	記録写真
1	<p>平成29年度 中四国ブロック青年建築士協議会 第2回理事会 次第(案) 日時 平成29年10月21日(土) 13:00~14:15 場所 建築会館 5階交流フロア (岡山県岡山市北区内山下1-3-19) 次第 1. 開 会 2. 出席者の確認 3. 幹事県挨拶 (一社)鳥取県建築士会青年部会部長 小谷卓也 4. 配布資料の確認 5. 議 事 (1)第5回中四国ブロック青年会議(島根県)の事業計画について (2)連合委員からの報告 ①全国大会の御礼 ②青年委員長会議のお知らせ (3)報告事項 (4)その他</p>	
2	<p>第8回 全国建築士フォーラムin京都 日時 平成29年12月7日(木) フィールドワーク 13:30~17:00 スタディーワーク 17:30~19:00 交流会 19:00~21:00 京都市勤業みやこめっせ地階第1展示場A/B面 〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9-1(二条通東大路東入) 開催内容:フィールドワーク 京都市「六原学区」のまち歩き 京都府建築士会が行っている地域での取り組みを肌で感じ、建築士と地域の連携、周知する事の重要性を学ぶ。 スタディーワークフィールドワークで感じたことをさらに掘り下げ、各地域で実施できるよう、ワークショップ形式で学ぶ</p>	
3	<p>平成29年度中四国B青年会議 防災意識の向上と木造住宅の耐震化の推進実施要綱 開催日時:平成30年 2月 3日(土曜日)15:00~18:00 開催場所:岡山市市民会館4階大会議室 幹事県:愛媛県建築士会青年</p> <p>□講座内容:阪神淡路大震災をはじめ、度重なる地震災害により、昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた古い木造住宅を中心に多くの住宅が被害を受け、多数の犠牲者が発生した。減災のためには住宅の耐震化が重要であり、建築士としての使命でもある。特に四国の地方公共団体においては、住宅の耐震診断及び耐震改修を行う際の支援制度を整備し耐震化の促進に取り組んでいるが、住宅の耐震化率(平成20年度)は全国平均の約79%に比べて徳島県で72%、香川県72%、愛媛県71%、高知県70%と低い状況となっている。また、四国地方においては、南海トラフの巨大地震の発生が懸念され、四国全域で震度6弱から最大震度7という非常に強い揺れに襲われる可能性があり、住宅倒壊の被害想定も甚大なことから、耐震化のより一層の推進が急務である。</p> <p>耐震化の推進のためには、「耐震化の必要性」や「支援制度」などを住民の方に理解していただく取り組みが必要とされ、その有効な方法の一つとして「倒壊模型」を使った加振実験を見て頂くことが有効と考える。</p> <p>今回は、各県の若き建築士に、今以上に防災意識を持ってもらうこととともに、各県で「倒壊模型」により防災講座の開催・普及につながるような情報提供を行う。また、災害時にトイレの吸水材料として使える身近な素材を、実際に吸水実験を行う。</p> <p>1.地震の恐ろしさ 2.倒壊模型2台による木造住宅の耐震化の必要性 3.災害時のトイレづくり(吸水実験)</p>	 
<p>■今後の予定(理事会・会議・大会等の開催予定)</p>		